

シューマイ作り楽しく

音更・北勝館 掛村さん利用者に指導



シューマイ作りに取り組む利用者。中央は掛村社長

ら2人が協力した。同社は2011年の同館開館以来、ボランティアで年1回、夏祭りの運営にも協力している。

高齢者は具をこねたり丁寧に皮に包む作業を行った。この後、同社から提供されたシューマイや中華まき、桃まんじゅうなどをおいしそうに味わった。

藤井陽子さん(89)は「楽しめたし、おいしかった。家族にギョーザなどを手作りしていた頃を思い出した」と話していた。

掛村社長は「人生の大先輩(高齢者)と接することで教わることは大きいと考え、スタッフが交代で参加している。食を通じた交流を続けていきたい」と語った。(長瀬聡美通信員)

【音更】有料老人ホーム

北勝館(木野大通東17、廣江竜信代表)の利用者らが9日、シューマイ作りを楽しんだ。

「ひなまつり」の一環で、入所・通所者85人が参加。

帯広市内で居酒屋「掛村」などを展開する「ピュロス」(帯広)の掛村真一社長(47)